

平成 16 年 3 月期 第1四半期業績の概要（連結）

平成15年8月5日

上 場 会 社 名 株式会社 タカラ

(コード番号: 7969 東証第 1 部)

(URL <http://www.takaratoys.co.jp>)

代 表 者 役職名 代表取締役社長 氏名 佐藤 慶太

問 合 せ 先 責 任 者 役職名 取締役財務部長 氏名 久保 亮三

(TEL : (03) 3603 - 2134)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成 16 年 3 月期第 1 四半期の業績概況 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日)

(1) 売上高

	売 上 高	前年同期比
	百万円	%
平成 16 年 3 月期第 1 四半期	17,778	123.4
平成 15 年 3 月期第 1 四半期	14,408	
(参考)平成 15 年 3 月期	85,692	

(注) 1. 当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績及び前年同期比につきましては参考数値として記載しております。

2. 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

3. パーセント表示は、対前年同四半期比率を示しております。

(2)売上高に関する補足説明

当第 1 四半期におけるわが国の経済は、個人消費の不振が続くなか、景気を下支えしてきた輸出の動きも停滞し、景気の基調は全体として横ばいあるいは弱含みで推移いたしました。このような情勢の中で、当社グループの連結売上高は、当初業績予想と概ね同水準で推移しております。玩具事業におきましては、定番の「チョコQ」、「ベイブレード」が堅調に推移し、カードゲームの「デュエルマスターズ」が国内で大ヒットしております。さらに、海外向けにつきましては、「ベイブレード」と「トランスフォーマー」がブレイクしており、昨年同期比で 3.37 倍の売上高を示しております。第 1 四半期には、欧米で大ブレイクした「BRATZ」ドールの先行販売、ゲームと玩具を融合した「プラスターワールド」の発売、家庭でソフトクリームが楽しめる「モアネージュ」の北海道におけるテスト販売、光を感知して小鳥がさえずる「小鳥日和」等の商品を発売いたしました。第 2 四半期以降、「e-kara」、「人生ゲーム」等の定番に加えてこれら話題商品により売上増加をはかってまいります。アミューズメント事業、家電・電熱事業、その他の事業の売上高におきましても、ほぼ計画どおりに推移しております。

(3)当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は特に発生しておりません。

3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)

第 1 四半期の売上高は概ね当初予想どおりに推移しており、業績予想に修正はありません。

16 年 3 月期の連結業績予想(平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
中間期	45,000	2,200	1,600
通 期	100,000	7,500	4,000

[業績予想に関する注意]

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる場合があります。

以上